

デジタル統括アドバイザー（非常勤職員）の募集について

1. 採用予定官職及び採用予定数

非常勤の自衛隊員

防衛省 整備計画局付 デジタル統括アドバイザー 1名

2. 採用（雇用）予定期間

採用後、令和9年3月31日まで（任期更新の可能性あり）

3. 職務内容

デジタル統括アドバイザーは、「デジタル行財政改革 取りまとめ 2025（令和7年6月13日デジタル行財政改革会議決定）」や、「デジタル社会の実現に向けた重点計画（令和7年6月13日閣議決定）」等に基づくIT戦略や「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン（令和7年5月27日 デジタル社会推進会議幹事会）」等によるITガバナンス・ITマネジメントを踏まえ、PMOが指定するPJMOに対し、常勤職員に不足する高度な行政情報化に関する専門的な知識及び経験によりPJMOへの支援等を行うものとし、具体的な職務内容は以下のとおり。

(1) クラウド移行プロジェクトの伴走支援

ガバメント・クラウドや防衛省クラウドなど、PMOが指定するクラウド利用やクラウド移行の情報システムプロジェクト（基盤選定、企画等）に対して必要な助言・支援・調整等を行い、プロジェクトが円滑に進むよう伴走支援を行う。

(2) PMOやPJMOの伴走支援

PMOが指定するデジタル庁主催の会議や省内のクラウド関連会議に参加し、防衛省の情報システム等で対応が必要となる事項（法令や規則制定に伴う改修等）の整理及び対応方針の検討を行う。検討した事項については、PMOやPJMOに対して説明を行い、必要な対応が取れるよう伴走支援を行う。

(3) 情報システムの立ち上げ及び更改における伴走支援

PMOが指定する情報システム立ち上げや更改に際して必要な助言・支援・調整等を行い、プロジェクトが円滑に進むよう伴走支援を行う。

4. 求める人材【応募条件】

次の（ア）（イ）（ウ）（エ）は必須の条件、（オ）は満たしていることが望ましい条件です。なお、年齢、性別は問いません。

- (ア) システムコンサルティング業務・システム監査業務等を実務責任者として5年以上経験していること。
- (イ) 次の資格のうち1つ以上保有していること。ただし、当該資格を保有していない場合は、当該資格を保有することと同等レベル以上の知識・能力を有することを経験・実績をもって具体的に証明すること。
- ・プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル (プロジェクトマネジメント協会)
 - ・公認情報システム監査人 (情報システムコントロール協会)
- (ウ) 次の資格のうち1つ以上保有していること。ただし、当該資格を保有していない場合は、当該資格を保有することと同等レベル以上の知識・能力を有することを経験・実績をもって具体的に証明すること。
- ・ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル (AWS 認定資格)
 - ・Professional Cloud Architect (Google クラウド認定資格)
 - ・Developer Associate (Microsoft 認定資格)
 - ・CompTIA Cloud+ (CompTIA 認定資格)
 - ・CCSP (ISC2 認定資格)
- (エ) 直近3年間において、(イ) に示す資格に関連する分野での実務を経験していること。
- (オ) 以下のうち、いずれかの経験を有していること。
- ・官公庁及び独立行政法人を含む公的機関において、デジタル統括アドバイザー (旧CIO補佐官業務) 等のデジタル統括アドバイザー業務と同等と認められる業務を1件以上受注し、当該業務を適切に履行した経験。
 - ・官公庁及び独立行政法人を含む公的機関において、業務・システム最適化の企画段階 (構想策定を含む。) を1件以上受注し、当該業務を適切に履行した経験。

5. 応募制限

以下のいずれかに該当する場合は、応募できません。

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 自衛隊法第38条第1項の規定により自衛隊員となることができない者
 - ・ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - ・ 法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - ・ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

- (3) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産者の宣告を受けている者
(心神耗弱を原因とするもの以外)

6. 応募方法

防衛省HP内の応募フォームにより下記必要書類を添付のうえ応募して下さい。郵送等による応募は受け付けません。

(1) 必要書類

ア 履歴書

これまでの高校卒業以降の学歴、職歴（応募資格に対応する資格・業務経験等）を全て記入してください。

語学能力について、英検、TOEFL、TOEIC等の各種語学検定を受けている場合には、受験年月日及び得点等も履歴書に記入してください。

イ 職務経歴書

これまでの職歴を主な担当業務とともに時系列順で記入してください。

ウ 卒業証明書（最終学歴のもの）

応募期限までに入手が間に合わない場合には、その旨応募フォームの自由記述欄に明記してください。応募後、書類選考を通過した場合には、面接試験実施日に持参してください。

エ 収入を証明する書類

源泉徴収票や給与明細書その他現所属が発行する給与額を証明するもの等。

オ 推薦書1通

所属長又は上司等の実績を証明できる者によるものとしてください。

※必要書類アからウは、防衛省HP内にアップロードしているファイルをダウンロードした物に必要な事項を入力してください。記入済みの必要書類アからウ及び必要書類エからキをPDF等の1ファイルにまとめ、応募フォーム内の応募書類欄にアップロードしてください。必要書類キについては、署名入りの推薦状を電子データ化してください。

(2) 応募期間

令和8年2月2日（月）～令和8年2月24日（火）

(3) 防衛省HP

<https://www.mod.go.jp/j/saiyou/internal/>

7. 選考方法

- (1) 第1次選考：書類選考（経歴評定）

(2) 第2次選考：面接試験（人柄、対人能力等についての試験）

8. 選考日程

受付期間	令和8年2月2日（月）～令和8年2月24日（火）
第1次合格発表	提出された書類により随時合格者を決定 ※応募された方全員に、結果をメールで通知します。
第2次選考	第1次選考合格者に対して随時実施（令和8年3月中旬までに対面で実施予定。状況により、オンラインでの実施の可能性もあります。） ※第1次選考合格者に、日程調整のメールを差し上げます。
最終合格発表	令和8年3月下旬までに連絡（予定）

9. 採用形態

自衛隊法に基づく非常勤の隊員

10. 給与・待遇

職務経験を勘案し決定（上限は時給、5,365円）

その他、勤務条件に応じ賞与等支給、社会保険加入

勤務日数は週2日以内で1日あたり7時間45分を基準

11. 留意事項

- (1) 任期中に、個別のプロジェクトに関して、仕様書作成などに関与することはありませんので、兼業で所属している事業者等が防衛省のプロジェクトに関連する調達案件の入札に対して、参加が制限されることはありません。
- (2) 防衛省入省後、秘密の取扱いに関する適格性等の確認を行います。
- (3) 在任中に知り得た情報を、防衛省の外部で論文等に発表すること及び外部に漏えいすることはできません。